

# 山梨大学教育人間科学部附属教育実践総合センター

## センターだより 第 19 号 (通巻第 86 号)

2003 年 4 月 23 日 発行  
山梨大学教育人間科学部  
附属教育実践総合センター  
電話 055-220-8325, FAX 055-220-8790  
e-mail: jissen@peach.kjb.yamanashi.ac.jp  
URL: <http://www.kjb.yamanashi.ac.jp/>

### 教官異動について

センター長 原田 博

3月1日付で新進気鋭の山下和之助教授を情報教育研究部門にお迎えすることができました。本号に掲載されている同氏の抱負をご覧ください。一方残念ですが、昨年度実施した2年目研修や本年度計画している期間採用者への研修等について多大な貢献をなされた客員教授曾根修一氏が任期満了となります。別紙「センターニュース第11号」に手記を寄せておられます。なお、同氏には教員採用試験に係わる科目の非常勤講師をお願いしてあります。引き続きよろしく願いいたします。替わって、新客員教授として4月1日付で五味武彦氏(前市川高等学校長)をお迎えすることになりました。同氏については次号で再掲します。

### 教育実践総合センター情報教育研究部門に赴任して

助教授 山下和之

この3月に情報教育研究部門に着任した山下和之と申します。着任前は千葉大学で主に一般学生を対象とした情報教育と理学部生を対象とした物理の教育を担当していました。これからはさらに踏み込んで、教育現場での情報活用の推進と理科教育者の教育という任を得て、重大な責務ではあるものの、挑戦的な仕事として意欲の駆き立てられるものであります。情報は日進月歩でそれを用いた教育の方法も絶えず変化していきます。そのため、情報の現状と未来を見据えた眼を持った教育者を養成しなければなりません。また、近年教育界の深刻な問題とされる理科離れに対し、私の注ぐ汗の内の一滴でも理科への興味の呼び水とし、自分という人間をも科学することのできる人間を育てるという意識を持った教育者を理科の分野では養成したいと考えています。漠然とした内容ですが、こういったことをこの職場で実践していく所存です。

### 教育実践研究部門平成15年度事業について

林 尚示

事業の詳細	教育実践研究の具体的計画
教育実習の今日的在り方に関する研究	教育実習委員会, 教育実習検討専門委員会, 教育実習成績評価委員会に委員として参加し, 教育実習の在り方について研究する。
現職教育に関する研究	大学院授業「教育方法学特論」及び「教育方法学特論演習」を担当し, 大学院に内地留学する現職教員と教育実践について研究する。
附属学校の教育実践にかかわる研究開発支援	学部と附属学校とで組織するカリキュラム開発のための共同研究会に参加して附属学校の教育実践にかかわる研究開発を支援する。
教育実践研究への協力	教育人間学部・医学部・工学部の1年生を対象に「少人数ゼミ」を開催し, 総合的な分野から教育実践研究を実施する。学部授業「授業研究実践論」を担当し, 学部の教員養成教育を実施する。
教育実践と情報教育の連携に関する研究	学部授業「情報科学入門及び実習」を担当し, 学部の教育実践と情報教育を連携させる。
公私立学校などとの連携	教育臨床研究部門と協力して期間採用者研修や2年目研修を実施する。山梨県教育委員会10年目研修に協力する。山梨県教育委員会主催事業, 小・中・高等学校校内研究会へ協力する。公立学校教員からの教育相談に応じる。山梨県総合教育センター職員による「授業研究実践論」を実施する。
公開講座の企画及び充実	山梨大学公開講座「教育方法学特論」を企画し講師として公開講座を実施する。文部科学省委嘱事業 el-Net 公開講座に講師として参加する。

### 情報教育研究部門平成15年度事業について

成田雅博・山下和之

情報教育研究部門では、昨年度までの事業をさらに発展させ、以下のような個別事業を中心に、情報教育や教育へのICT活用を推進する人材育成とe-Learningに力を入れていきたいと考えます。皆様方のご理解・ご協力をお願いいたします。

情報教育に係る教師教育(教育情報化推進コーディネータ・校内情報化推進リーダー・学校図書館司書教諭の現職教員研修、

情報教育・ICTを活用した学習指導のできる教員養成)

・山梨大学公開講座, 教育情報化推進コーディネータ検定試験, 学校図書館司書教諭

講習・大学院科目「情報教育特論」等・学部授業「情報教育実践論」「総合科目 情報化社会とインターネット」等

附属学校・山梨県内公私立学校・山梨県教育委員会・山梨県総合教育センター・生涯学習施設等との連携

・山梨県都市コミュニティ研究成果展開事業遠隔教育分科会として下部町役場・下部中学校・市川南中学校・山梨県立科学館と共同研究

・e!プロジェクトによる遠隔3D-VRの教育利用に関し, 山梨県情報政策課・附属小学校・南アルプス市立白根巨摩中学校等と共同研究

・山梨県総合教育センター情報教育部への指導助言

・山梨スクールネット研究会運営への支援

e-Learningに関する研究

・メーリングリスト, Web掲示板や本格的なe-Learningシステムによる遠隔教育の研究

・院内学級・病弱養護学校等や, 不登校の子どもたちの通級施設・家庭における学習支援に関する研究

施設・設備の管理・学部共通利用サービス

・マルチメディア教材作成室の管理

・J号館サブネットの管理

国立大学教育実践研究関連センター協議会との連携

## ■ 教育臨床研究部門平成15年度事業について

鳥海 順子

今年度も下記のような継続事業並びに新規事業を展開し, さらなる教師の資質向上, 地域貢献を果たしていきたいと思っておりますので, ご協力, ご助言の程よろしくお願い申し上げます。

- ・ 昨年2月から開始した教育人間科学部教官による「教師のための教育相談」は, さらに利用しやすくなるように, わかりやすく, 身近な印象を与えるパンフレットを作成したいと思っています。
- ・ 昨年度発足しました附属校のためのカウンセラーチームによる教育相談については好評でしたので, 今年度も教育人間科学部教官の方々の協力を得ながら, 支援をしていきたいと思ひます。
- ・ 教員採用2年目研修も昨年度から実施しましたが, 今年度は本学卒業生のみでなく, 全県へ拡大を図ります。教育実践研究部門と協力し合い, 充実した内容にしていきたいと思ひます。
- ・ 今年度もスクールカウンセラー(要請型)への協力を継続します。
- ・ 教育委員会等主催研修会への講師派遣についても協力をします。
- ・ 附属校との研究活動(共同研究会)では現場サイドからの課題を取り上げ, 教育現場に貢献できる研究を行います。
- ・ 平成15年度新規事業として「期間採用者研修の実施」, 「県の10年目経験者研修への協力」, 「(仮称)教育臨床研究会」等を予定しております。「期間採用者研修」につきましては, 昨年1月に研修ニーズ調査を行い, 研修内容では教科指導, 学級経営, 生徒指導の順に多く, 時期としては8月に希望が寄せられました。この結果を参考に現在, 教育実践研究部門と共に研修の企画を練っております。

## ■ 第3回教育実践研究会のご案内

今回の教育実践研究会では, 文部科学省の在外研究員として, 「環境教育とエコツーリズムに関する社会心理学的研究」を研究テーマに昨年4月から約1年間, オーストラリアのクイーンズランド州にある州立グリフィス大学のオーストラリア 環境研究学部 に在籍されていた尾見康博氏をお迎えします。オーストラリアの環境問題, 学会の雰囲気, 生活スタイル, 観光地等々オーストラリアの最新情報が得られる貴重な機会となることと思ひます。学生, 教職員その他多数のご参加をお待ちしております。

日時:2003年5月12日(月)16:30~18:00

場所:附属教育実践総合センター5階 多目的教室(J号館 514)

テーマ:「豊かな国オーストラリアの環境にまつわるはなし」

## ■ 山梨大学教育人間科学部「教師のための教育相談」

教育人間科学部では今年度も「教師のための教育相談」(ご登録内容で変更をご希望される相談スタッフの方は5月10日までにセンター事務室までお申し出下さい)を実施します。詳細は下記のWebページでご確認ください。

<http://www.kjb.yamanashi.ac.jp/ec/soudan/soudan.html>